

“Diversity”とは「多様性」という意味です。人と違う自分を認め、自分と違う人を受け入れる。

1つの「同じ」を嬉しく思い、1つの「違い」を楽しめる。私たちの社会をカラフルなものにしてくれる「多様性」を、大切にしていきたいですね。このニュースレターは年3回(2, 5, 10月)に発行しています。過去ニュースレターは横浜 YMCA 英語学校のホームページからもご覧いただけます。

https://language.yokohamaymca.org/english/program_trial/cyuoymca_newsleter/

こんにちは！長期間にわたり英語クラスが休講となっておりますが、みなさん元気でお過ごしですか。ここ数ヶ月の間に、私たちの”日常”は一変しました。「外に出る」「人と会う」「一緒にご飯を食べる」そんなごく当たり前のことを制限されることがこんなにも辛いとは想像もしていませんでした。今は、自分という木の根を深く下ろす時です。自分と向き合い、将来のために学び、シンプルなことに丁寧に取り組み、事態が収束した時に簡単には折れない立派な木の根を張っておきたいものです。・・・楽しく英語学習も忘れずに！！



英語学校講師のエッセイ

Nakamura Hiromi 先生

ワシントンと聞くとワシントン D.C. を思い浮かべる方も多いと思いますが、私が以前住んでいたイギリスにもワシントンという町があります。その町はイギリス北東部のサンダーランド市にあり、アメリカ初代大統領ジョージワシントンの祖先の家族が住んでいたと言われていました。家族が住んでいた家はワシントンオールドホールと呼ばれ、ワシントンの家族が所有するマナーハウスとして一般公開されています。自然が豊かで、近くには WWT 湿地センターがあります。ここは世界で最も希少な鳥を含む野生動物の自然保護地区でバードウォッチングに最適です。ご近所の皆様も親切で、私の大好きな町なのですが、この地域の方言であるジョーディイングリッシュにはとても苦労しました。例えば、ジョーディイングリッシュでは u の発音が「ア」ではなく「ウ」になり bus は「バス」ではなく「ブッス」に button は「ブッウン」に近い発音になり、5年近く住んで徐々に慣れていくことができました。

YMCA リーダーとは？

YMCA では、ボランティアや指導者のことを「リーダー (Leader)」と呼びます。メンバー (子どもたちなどプログラムの参加者) に何かを一方向的に教えることだけがリーダーの役割ではありません。リーダーはメンバーと同じ目線に立ちながら、良い見本となり、活動を一緒に楽しみ、共に成長していきます。先生や親とは違った「ナナメの関係」です。「どうしたら子どもたちのやる気を引き出せるだろう」「どうしたらメンバー同士のよい関係性が築けるだろう」答えのない問いに対して、試行錯誤を繰り返しています。

一部の英語クラスや季節のデイケアプログラム、ハロウィンイベントなどでリーダーに会うことができますよ。それ以外にも、水泳やサッカー、体操、キャンプ、学童などでたくさんのリーダーがみなさんの参加を待っています。YMCA では、中学生 (ジュニアリーダー) から社会人経験豊富な方まで、幅広い年代の方が活躍しています。

メンバーや自分自身の可能性を信じて努力を重ねるリーダーは、YMCA とともに、よりよい社会を築く担い手です。あなたも将来のリーダー候補です！



Global Citizen Tips!

-地球市民としての学びを続けよう-

もうすでにご覧いただいている方もいるかもしれませんが、英語学校では、家庭でも楽しく学べる英語ワンポイントレッスンや国際理解クイズなどをホームページ上でお届けしています。様々なバックグラウンドを持った先生やスタッフがいる YMCA だからこそその盛りだくさんの内容になっていますので、お時間のある時にぜひお楽しみください！ Pui 先生からのタイクイズもあります！

→ <https://language.yokohamaymca.org/english/gct/>



世界的な危機の中で、皆さんの周りで、小さく、弱くされている人が、より不安や困難の中にあることを覚えます。高齢者や子どもたち、ひとり親家庭、障害のある方は日常の居場所や活動、学びや働き場を失い、海外につながる方も情報格差の中にあり、より孤立しやすい状況にあることでしょう。この孤立感や閉塞感が漂う中で、YMCA は、このメッセージが1人でも多くの人に届くことを願っています。

#はなれていてもつながっています